

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 4 日現在

機関番号：34504

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17K04654

研究課題名(和文) ヴェネツィアのユダヤ人コミュニティにおける幼稚園導入史—カンナレージョの例—

研究課題名(英文) History of introducing the kindergarten in the Jewish community of Venice: in Cannaregio

研究代表者

オムリ 慶子 (OMRI, Keiko)

関西学院大学・教育学部・教授

研究者番号：20193823

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,800,000円

研究成果の概要(和文)：ヴェネツィア市立古文書館で得た幼稚園設立に関する文書と、ウーディネ市立図書館「手稿と貴重本セクション」では、ピックが所蔵していた手紙を読み解くことができた。これによって、コンパレッティ夫人の寄付を基金としたヴェネツィア市立幼稚園が、どのような道をたどって現在の市立母親学校になったのか、またユダヤ人であり公教育省事務官であったラヴァの手紙を読み解くことによって、ローマのユダヤ人コミュニティの幼児院の様子や、幼児院をフレーベル幼稚園に代えていく困難さ、ヴェネツィアと違いローマではユダヤ人が差別されていたこと、そしてラヴァが関係していたイタリア教育連盟ボローニャ支部の運営についても明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究成果の学術的意義は、ヴェネツィア市の調査で4年間の報告書を追うことによって、コンパレッティ夫人の市立幼稚園へのかかわりや、幼稚園開園までの市の動きや苦勞等、詳細が明らかになったことである。また、ウーディネの古文書館では、ピックの研究者ガスパーニが研究に使用していなかったラヴァとベッルツィの手紙文を読み解くことによって、ユダヤ人であるピックとラヴァの動きと、イタリア教育連盟ボローニャ支部の動きの内部事情等が明らかになったことにも意義があった。社会的意義については、イタリアにおける幼稚園普及には、ユダヤ人ネットワークと、イタリア教育連盟の二通りの流れがあったことが明らかになったことである。

研究成果の概要(英文)：In this study, we obtained the documents of the City of Venice for the establishment of a kindergarten from the Venetian Archives and the letters held by Adolfo Pick obtained from the "Manuscripts and Rare Books Section" of the Udine City Library. Analysis of the documents revealed that the Venetian Municipal Kindergarten, funded by the donation given by Elena Raffalovich Comparetti (1842-1918) is the current municipal preschool. And reading the Jewish and Ministry of Public Education Rava's letter, has become clear the Jewish community in Rome, the difficulty of replacing infant schools with Froebel Kindergarten, and the discrimination of Jews in Rome, unlike in Venice. The letter also revealed the Bologna branch of the Italian Educational Federation with which Rava' was involved.

研究分野：幼児教育史

キーワード：ヴェネツィアのユダヤ人コミュニティ アドルフォ・ピック 公教育省事務官ヴィットーレ・ラヴァ
エレーナ・ラファロヴィッチ・コンパレッティ 市立幼稚園 ラファエーレ・ベッルツィ イタリア教育連盟

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 平成 26 年～28 年(基盤研究 C、課題番号 26381054、研究課題：諸外国における幼稚園導入過程から見た現代の日本の保育 - 新しい保育史観の試み -)において、1800 年代後半のイタリアの古文書の記録を調査することを通して、イタリアには 2 つの幼稚園運動の中心地があったことが明らかになった(オムリ 2016a.2016b.2016c)。1 つが 1861 年イタリア王国として統一を達成した政府とかかわりがあった女子師範学校附属幼稚園の拠点ヴェローナであり、またもう一つがユダヤ系幼稚園推進者となったヴェネツィアである。特にヴェネツィアについては、現地のフィールドを調査する中で、複数のユダヤ系幼稚園がカンナレージョというユダヤ人居住地に存在していたことや、そこにはイタリアでもっとも古い部類に入る女子師範学校が存在し、フレーベル幼稚園教師の養成が行われていたことが分かってきた(オムリ 2016c,2012)。

(2) 幼稚園普及に貢献したユダヤ系人物として代表的な人物は、ジュリー・シュワーベ (Julie Salis-Schwabe 1818-1896) をはじめとしてベルドシェック (Martha Berduscheck 生没不詳) 等少なくはないユダヤ人女性たちがいるが、各国の幼稚園運動史には彼女たちの功績とともにユダヤ系であったことが簡単に触れられているに過ぎない。ヴェネツィアでは、イタリア最初の幼稚園を創設したユダヤ系イタリア人アデーレ・レーヴィ・デッラ・ヴィーダ (Adele Levi della Vida 1822-1910) や、ヴェネツィアの幼稚園運動の中核を担ったユダヤ系ボヘミア人アドルフォ・ピック (Adolfo Pick 1829-1894)、そして現在に至るまで息の長い市立幼稚園(現在は母親学校と呼ばれている)を指揮したユダヤ系ロシア人エレナ・ラファロヴィッチ・コンパレッティ (Elena Raffalovich Compaletti 1842-1918) がいるが、やはりここでもユダヤ系であることが触れているのみである。本研究では、イタリアで幼稚園が広がるきっかけを作ったキーウマンやキーマンがユダヤ系であったことに着目し、その中でもゲッターのあるカンナレージョ地区を中心に研究を進めた。

2. 研究の目的

(1) 研究の目的は、ユダヤ人による幼稚園設立と運営がどのようになされていたのかを明らかにすることである。また、その運営の中で、ユダヤ人同士がどのようなかかわりを持って幼稚園を設立していったのかも重要な要素である。前述したように世界中に広がる幼稚園は、その普及初期にユダヤ系活動家が深く関わっていたことが幼児教育史の中で断片的に知られていた。しかしその人物が単にユダヤ系であったことだけが研究の中で言及されていたにすぎず、それ以上掘り下げられることはなかった。申請者の最近の調査によると、イタリア・ヴェネツィアに中世から続く、世界で最初にゲッターと呼ばれる大きなユダヤ人コミュニティがあり、その中で活発にフレーベル幼稚園が受容されていたことが分かってきた。本研究では、ヴェネツィアのユダヤ人コミュニティにおける幼稚園導入の活動とその実態を明らかにすることによって、従来までの幼稚園導入史に新たな一石を投じることが目的であった。

(2) 世界最古と考えられているユダヤ人居住地のあるカンナレージョが、ヴェネツィア市の中でどのような歴史的・文化的位置づけだったのかを踏まえ、ユダヤ人コミュニティにおける 19 世紀後半の幼稚園の実態(具体的には、幼稚園推進者の人物像と設立の動機、幼稚園設立にかかわる資金の出所、設立の場所と規模、運営方法、保育内容、イタリアの他の幼稚園や海外の幼稚園、そしてドイツの幼稚園推進者たちとのネットワークの実態)を明らかにした。

(3) 従来の研究では、一般的にマーレンホルツ (Berta von Marenholtz-Bülow 1810-1893) のドイツ国内外での活発な講演活動や、ベルリンやドレスデンでの養成校運営、そしてそこを卒業したドイツ人(またはユダヤ人)保育者を各地に園長として送り込むことによって、世界中に幼稚園を普及させることになったと考えられているが、その陰にユダヤ系活動家の貢献があったことに着目し、特に中世から続くユダヤ人居住地で、ユダヤ系運動家がどのような動機をもって、どのように幼稚園推進にかかわったのかを明らかにした。

3. 研究の方法

(1) 当初考えていた方法として、ヴェネツィア・ユダヤ博物館や古文書館に所蔵されている古地図や文献を収集しヴェネツィアのゲッターでユダヤ人たちがどのような生活を送っていたのかを分析する予定であったが、2018 年 2 月に博物館を訪れてみると、ユダヤ人の案内人によって一通り博物館内とシナゴーク内を説明付きで見ることができたが、古地図や文献は見ることができなかった。

(2) ヴェネツィアの市立古文書館では、コンパレッティ夫人から膨大な寄付金を受け取ったヴェ

ネツィア市の記録から、市立幼稚園を設立し、どのように幼稚園を運営していったかについての文書が残っており、それらを収集し解読することで市立幼稚園設立までの詳細を分析し、論文にすることができた。また、ウーディネの市立古文書館では、ピックに宛てられたかなりの量の手紙類が保管されており、ピックと親交があった人物とのかかわりや手紙の内容を分析し、それらの詳細を論文にすることができた。

(3)なお、ヴェネツィアの研究者フィリッピーニはヴェネツィア市が発行した書籍 *La scoperta dell'infanzia* の中で、“Come tenere pianticelle” と題しヴェネツィアの保育の歴史を書いており、その中でコンパレッティ夫人について触れてはいるが、古文書館の記録を使用しているのは市への寄付と 1874 年 10 月 24 日開園までを書いた 11 行のみである。ピックについては、イタリアで著名なピック研究者ガスパリーニによって、ウーディネ市立古文書館の手紙文を *Adolfo Pick Il pensiero e l'opera Vol, III, parte II* で紹介しているが、ガスパリーニが紹介していない他のヨーロッパ国ともつながりを持つイタリア教育連盟ポローニャ支部の中心であったベッルツィヤユダヤ人ラヴァを論文で取り上げた。

4. 研究成果

(1)今まで Asher Salah (2015) がユダヤ人としてのエーレナ・ラファロヴィッチ・コンパレッティを中心にラファロヴィッチ家の歴史について書いてはいるが、コンパレッティ夫人が幼児教育にかかわったことは述べられていなかった。研究の前半では、ヴェネツィアの古文書館で得た資料を読み解くことによって、コンパレッティ夫人がヴェネツィア市にどのようにアプローチをし、ヴェネツィア市が市立幼稚園を設立していったのか。そして幼稚園に欠かせない「庭」に植える木の種類やパーゴラについての論争や、市がユダヤ人から借りた建物を幼稚園として修理をしていく過程など、イタリア最初の市立幼稚園として、事業の流れや葛藤など当時の人の思いをくみ取ることによって生きた幼稚園の姿を論文にすることができた。

(2)また研究の後半では、ウーディネの古文書館に残されているアドルフォ・ピックが保存していた手紙を読み解くことによって以下のことが明らかになった。ユダヤ人であり公教育省事務官であるヴィットーレ・ラヴァが、同じくユダヤ人であるピックに宛てた手紙によると、ローマでのユダヤ人の生きづらさや、ローマのユダヤ人コミュニティの中にある古い幼児院をフレール幼稚園に変えていこうとする困難さが打ち明けられており、ヴェネツィアに比べるとローマでのユダヤ人の生きづらさが明らかになった。そしてイタリア教育連盟ポローニャ支部に属しているベッルツィヤは、彼自身はユダヤ人ではないが、ポローニャ支部の幼稚園で行われた他市の子どもたちを交えて行われたフレール祭などが事細かに手紙に書かれており、当時の連盟の様子が手に取るように詳細に明らかにすることができた。

< 引用文献 >

オムリ慶子(2012)、「イタリアにおける幼稚園導入期の一様相 - A. ピックと女性活動家をめぐって - 」日本ペスタロッチー・フレール学会紀要『人間教育の探求』第 24 号、pp.1-21.

同上(2016a)、「イタリアにおける幼稚園導入期の一様相 - コロミアッティの<教育システム>を中心に」日本ペスタロッチー・フレール学会紀要『人間教育の探求』第 28 号、pp.23-47.

同上(2016b)、「1870 年代前半ヴェローナの幼稚園についての一考察 - 『イタリア教授同盟』会報の分析を通して - 」関西学院大学教育学会『教育学論及』第 8 号、pp.53-65.

同上(2016c)、「ヴェネツィアにおける幼稚園導入」日本教育学会第 75 回大会、ラウンドテーブル報告資料.

Asher Salah (2015), *From Odessa to Florence : Elena Comparetti Raffalovich. A Jewish Russian Woman in Nineteenth-Century Italy*, Quest. Issues in Contemporary Jewish History, n.8, November.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 オムリ慶子	4. 巻 第12号
2. 論文標題 イタリアのユダヤ人コミュニティにおける初期幼稚園-アドルフォ・ピックとヴィットーレ・ラヴァ-	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 関西学院大学 教育学論究	6. 最初と最後の頁 11-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 オムリ慶子	4. 巻 第10号
2. 論文標題 ヴェネツィアのユダヤ人コミュニティにおける初期幼稚園-公立幼稚園の設立-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 関西学院大学 教育学論究	6. 最初と最後の頁 pp.25-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 オムリ慶子	4. 巻 第9号-2
2. 論文標題 ヴェネツィアのユダヤ人コミュニティにおける幼稚園導入-エレーナ・ラファロヴィッチ・コンパレッティを通して-	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 関西学院大学 教育学論究	6. 最初と最後の頁 pp.77-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 オムリ慶子	4. 巻 第13号
2. 論文標題 イタリア・ポローニャにおける1870年代から1890年代の幼稚園-ベッルツィのピックへの手紙から-	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 関西学院大学 教育学論究	6. 最初と最後の頁 pp.27-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 Keiko OMR1
2. 発表標題 The first Kindergarten in a Jewish Community in Venice: Establishment of a Public Kindergarten
3. 学会等名 The 8th International Froebel Society Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 オムリ慶子
2. 発表標題 ヴェネツィアのユダヤ人コミュニティにおける幼稚園導入ーエーレナ・ラファロヴィッチ・コンパレッティを通してー
3. 学会等名 日本ベスタロッチー・フレーベル学会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------